

広報 なかわだ

第 395号

12 月の予定

無原罪の聖マリア	8 日 (土)
教会委員会	8 日 (土)
赦しの秘跡・共同回心式	9, 16 日 (日)
信徒の会 例会	16 日 (日)
子どもと共に捧げるミサ	23 日 (日)
主の降誕 (夜半ミサ)	24 日 (月)
主の降誕 (昼間ミサ)	25 日 (火)



2012 年 12 月号

中和田カトリック教会
広報委員会発行

泉区中田北 1 丁目 9-1

Tel. (045) 803-6141

<http://www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/>

平成 24 年 12 月 2 日

Nativity with Saints Lawrence and Francis, 1609 (Caravaggio)

12 月 9 日 (日) 午前 9 時のミサ後の共同回心式にて 「ゆるしの秘跡」を受けましょう

主任司祭 小林 陽一

ヘンリ・M・ナウエン神父様 (故人) が、＜小鳥のように傷つき易く＞と題して、次のように書いておられます。

人の一生は尊いものです。それがダイヤモンドのように不変のものだからではなく、小鳥のように傷つきやすいものだからです。人生を慈しむことは、配慮、関心、導き、助けを必要とする、そのような弱さを愛することなのです。生まれたばかりの赤ん坊と死に瀕している老人とが、私達に人生の尊さを思い起こさせてくれます。私達が力に溢れ、幸福に恵まれ、人々にもてはやされている時、人生の尊さと傷つき易さを忘れないようにしましょう。

(『今日のパン、明日の糧』P35より)

今年一年歩いて来られた道、日々の生活を振り返って、出来るだけ「ゆるしの秘跡」を受けられ、神からの赦し、神との和解、関わった人々との和解の恵みが与えられるよう願いましょう。

お忙しい時期に無理を申し上げてすみません。ご参加下さいますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。



典
礼
こ
よ
み
(
十
二
月
)

日	曜	典 礼	ミ サ	備 考
1	土		主日ミサ (18 時)	
2	日	待降節第 1 主日	主日ミサ (9 時)	
7	金		初金ミサ (10 時)	掃除
8	土	無原罪の聖マリア	祝日ミサ (10 時) 主日ミサ (18 時)	
9	日	待降節第 2 主日	主日ミサ (9 時)	ゆるしの秘跡・共同回心式
15	土			掃除
16	日	待降節第 3 主日	主日ミサ (9 時)	ゆるしの秘跡
22	土			掃除
23	日	待降節第 4 主日	子どもと共に捧げるミサ (9 時)	聖堂清掃 (C,D)
24	月	主の降誕祭	夜半ミサ (19 時)	
25	火	主の降誕祭	昼間ミサ (10 時)	
29	土			
30	日	聖家族祝日	主日ミサ (9 時)	

昔と今の告解の違い、並びに共同回心式について

去る9月と10月の「信徒の会」において、昔の告解と今の告解はどのように違うのかというご質問と、共同回心式とはどんな式ですかというご質問がありましたので、答えさせていただきます。

昔の告解は、「告解」とか「悔悛の秘跡」と呼ばれ、信者や告白者は、告解場で自分の罪（神のみ旨に反すること）をすべて告白するよう指導を受けました。その際、公教会祈祷文の中の糾明の箇条にそって、自分で一つ一つ罪がないか調べました。償いの祈りも今と同じようにありました。

今の告解、「ゆるしの秘跡」は、1962年の第2バチカン公会議以後に実施されました。この場合、告白者は、告白する前に、自分の生活態度を根本的に改めたいという決心が必要です。その上で、告白する内容は自分の罪の全てではなく、自分でこれは心から反省しなくてはと思った大事なことを二つか三つ告白することができます。「ゆるしの秘跡」の式次第は口語文となり、聖書朗読もこの式文の中で「神のことば」として読まれることとなりました。今の「ゆるしの秘跡」は、罪の告白に重点を置くものではなく、罪のゆるしを受けることに重点が置かれることとなりました。

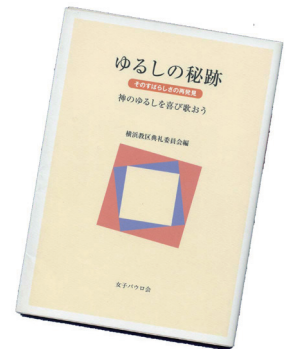
共同回心式については、私達が普段受けている「ゆるしの秘跡」は＜個別のゆるしの式＞と呼ばれ、回心者の個別告白と個別赦免が伴います。それに対し、「共同回心式」には、個別告白と個別赦免を伴う共同回心式と、一般告白と一般赦免を伴う共同回心式があります。こ

のうち、後者は、それを実施するためには教区長の許可が必要です。一般告白と一般赦免に与かった信者に大罪があった場合、その赦免を有効に受けるためには、機会を得たときに、その大罪を司祭に告白する決心がなければなりません。一方、前者は、個別告白と個別赦免を伴う共同回心式ですが、この共同回心式は、教区長の許可をお願いすることなく、普通に司式司祭により主日また平日に実施することができます。ただし、主日の場合、主日ミサ後に行われます。この共同回心式は、個人の罪のほか、共同体の罪を考える場ともなります。キリストの体として一つに結ばれている共同体の連帯性について考え、共同体の上に神のゆるしを願い求めます。そして、その共同回心式をとおして新しい出発ができるように願います。

共同回心式には上に述べたような意味がありますので、参加者の主体的な行動を大切にしながら、個人個人が霊的に清められ、共同体全体が清々しさの伴った刷新の恵みを頂くことができることを願います。

中和田教会の保護者、聖母マリア様の取り次ぎによって、私達の共同体が回心に向かうことができますように。

（主任司祭 小林 陽一）



～ 中和田の風 ～

聖歌は祈り

— 歌うことで伝えたい —

日曜日のミサで、ひととき響く趣のあるアルトで聖歌を歌っておられる石井悠子さんに歌う喜びについてお話を伺いました。



いつ頃から歌を歌うことが好きになったのですかー

私の記憶には残っていないが、母がギターやマンドリンなど弾くことに慣れ親しんでいたと姉たちから聞いている。その影響からか、5、6才の頃には姉妹の中心になってよく小さな家族演奏（合唱）会をやっていた。地域ののど自慢にも姉たちから勧められて出ると鐘を鳴らす子供だった。

夢は合唱団で歌うことー

カトリック系中学校二年の時、音楽の先生に勧められ聖歌隊に入り高校卒業までアルトとして合唱で歌うことの楽しさを体験した。その後もいつか合唱団の一員となって歌いたいという夢を持ち続けていた。時は経ち、結婚、子育てを終え50才になった時、福音コールに入団する機会に恵まれた。先輩メンバーたちに温かく迎えられ練習に励み19年間在籍した。その間二度もポリープの手術を受けるという困難にもあったが、落ち込むこともなく今に至ったのは信仰に助けられてきたのではないかと思います。

これから始めたいこと続けていきたいことー

泉区民クリスマスコンサートに今年（12月24日）もより多くの方に参加して頂き、一般の方に「クリスマスの本当の意味」を伝えたいのはもちろんのこと、信仰年を迎えた今、信仰年の聖歌を練習してミサの中で歌っていききたい。毎月第1、4水曜日12時半から泉区民クリスマスや聖歌の集いの歌を宗教音楽、声楽がご専門の先生に丁寧に指導して頂いています。興味のある方は是非一度いらしてください。

あらためて聖歌を歌う意味と好きな聖歌を教えてくださいー

- ・聖歌は祈りです。味わいながら心を込めて歌うことで神さまからのメッセージを感じとれるのではないのでしょうか
- ・好きな聖歌は103番「幸せな人……妻は家庭をうるおす……」
すなわち“家庭を大切にすること”これにつきますと思います。



七五三祝福ミサ(11/11)

おめでとう!!



今年度の要理学校の活動を振り返って

今年も要理学校の活動にご理解・ご協力いただきましてありがとうございました。1年間たって、子どもたち一人ひとりがそれぞれに成長できたことに、神様からのお恵みを感じずにはいられません。今年の要理の活動を振り返って、来年度への活動につながればと思います。

昨年12月に堅信式があり、要理学校のメンバーからも堅信のお恵みをいただくことができました。今年3月に6年生が卒業し、以後高学年の参加が少なくなったことはとても残念でした。

4月の復活祭には、3名が初聖体のお恵みをいただきました。来年度は、6月のキリストの聖体の祝日に、初聖体をします。5月には、湘南白百合学園小学校のグラウンドで、第5地区の子どもたちの運動会があり、楽しく参加することができました。7月に教会で行った夏季学校では、たくさん遊ぶことができ、仲よくなれました。

参加する子どもの低年齢化で、第4日曜日の子どもミサが活動の中心になりました。子どもミサをするためには、先唱や朗読や侍者など12人分の役割があります。子どもたち、特に小さい子には難しい仕事も多くありますが、がんばってきました。要理学校では、侍者のやり方を教わったり、お辞儀の仕方を練習したり、ミサで歌いたい聖歌を相談したりしてきました。ミサで役割をもち積極的に関わることで、ミサが少しでも身近に感じられるようになってきたようです。

要理学校は、第3・第4の日曜日を中心に、幼稚園・保育園から小学生の子どもたちが活動しています。現在、要理学校の指導は、要理学校に通っている子どもたちのお母さんが中心になっています。お母さんたちは、仕事をおもちだったり下のお子さんが小さかったり、学校や地域の行事が山積していたり、事情はそれぞれですが忙しい生活に追われています。でも、わが子を教会の中で、神様の愛の中で育てたいという思いをもって、要理学校の運営にも尽力してくださっています。今年度は、例年のように代表リーダーを決めることはできませんでした。要理学校に関わる仕事を分担しながら、協力し合って進めてきました。毎月の委員会への参加も順番で行いました。連絡不足でご迷惑をおかけすることもあったかと思いますが、参加することで教会について一人ひとりが知る機会になったというご意見もありました。

要理学校に参加する子どもたちの数が増えるといいな、活動してくださる大人の数も増えるといいなと思います。長期でなくても、1回イベントをしようと誘っていただだけでも結構です。ぜひ、お声をかけてください。

(保科 桂子)



『信徒の会』11月度例会より(11月18日)

今回は、前回話題にのぼった「ゆるしの秘跡」と「共同回心式」について、理解をさらに深めるために、第2バチカン公会議後の新しい捉え方を含むお話を、小林神父様にきていただいて伺いました。

現在の共同回心式の形に似た方式は、かつての戦時期に、外国のカトリック信徒の兵士たちが戦場に向かう際に、従軍司祭から「ゆるしの秘跡」(告解)を受けることが行われていた時期に、従軍司祭がいない時や時間的に告解をするヒマがない時などに、兵士たちが集まって、共同で罪の糾明や回心をして赦しを願い、後であらためて告解をするということが行われていたのが、そもそもの発端だったようだった。いわゆる一般赦免で、戦場でいのちを失うことがあっても神さまの元にゆけるといふ安心が頂けたのでしょう。現在この一般赦免には司教様の許可が要るそうです。

そのあとは、現在私たちが与る「ゆるしの秘跡」や「共同回心式」の新しい考え方について詳しく解説していただきました。これに関しては、今後神父様から皆様に向けてもお話があると思いますので、省略させていただきます。

「罪」そのものよりも、「回心」と「赦し」「和解」に重点が置かれるようになり、神さまの愛をより身近に感じ取る機会が与えられるようになった新しい方向をよろこびたいと思いました。

お知らせ

①12月も「信徒の会」を行います。

(12月16日)

②12月22日(土)夕方から「忘年会」を予定しています。

(詳細は決定次第お知らせします。多数のご参加をお願いします)

(岩崎 好愛)



委員会だより

(文中敬称略)

△11月11日(日) 11名出席▽

■小林神父の話

・信仰年の目的を理解して頂くため、今は折に触れてミサの中で話をしていく。資料(「信仰年」)の開催にあたって印刷して聖堂の後ろの机に置いておくので参考にしてほしい。

・12月24日主の降誕の夜半ミサに若い20代、50代の方に多く参加して頂くためにどんなことをやったら良いのか考えてほしい。普段来られない方が降誕祭や新年のミサに参加して共同体としての関わりを強めて頂きたい。

■スケジュールの確認

・11月25日大そうじ

■各グループからの報告

●要理(裕)

子供たちとクリスマスの出し物を相談中

●典礼(青柳)

・ゆるしの秘跡

・12月9日共同回心式(講話:小林神父様) 16日も個別にゆるしの秘跡が受けられます。

・司教様の訪問について

・堅信式―来年は該当者がいないが、年内には合同堅信式について戸塚教会にこちらの意向を伝え戸塚教会の意向を受けて検討していく。

・信仰年の目的はカテキズムの理解を深めることでもあるので堅信式を受ける時、親、代父母も一緒に勉強し理解を深めることが堅信式を受ける子供の意識に良い影響

を与えるのではないか。(小林神父)

●財務(甲斐)

・2022年度の活動計画の中で各グループの予算案を11月中に出してください。ダスキンの費用が高いので代替えを探している。

・災害対策として食糧など購入を検討しても良いのではないか。―水など備蓄する方向で検討する。毛布は信徒に寄付を募るのも良いのでは(上野)

●総務(岩淵)

・ボードに資料を貼る時、資料にその日の日付と外す日を記してください。名簿の訂正―住所変更届けを聖堂の後ろに置いておくので住所変更があった方は届け出をお願いします。随時受け付けている。

●営繕(福島)

・ガス配管の修理
・屋根修理検討中
・バザーのヤキトリ器具の古いガス管は取り換えが必要(甲斐)

●宣教(石井)

・中高生会 ゆるしの秘跡について勉強会を予定
・泉区民クリスマスコンサート 12月24日(月) 13:30~15:30(泉区公会堂)

・あらかじめ整理券は配っているが、整理券なしでも当日入れるのでご友人などお誘い合わせの上、より多くの方のご来場をお待ちしています。

・キャロリング 12月15日(土) 16:00~いづみ中央駅コンコース(練習しなくても参加できますので是非一度外で歌うキャロリングの楽しさを味わって頂きたいです)

●福祉(山本)

・今年も毛布を送る。バザーの残品

を引き受け路上(教会の前)で売って東北支援に使いたい。

●行事(大宮)

・バザー収益の配分(50%福祉、50%教会)

・福祉の配分については財務で決める、災害備品などどうか(甲斐)

●広報 原稿

■連絡、討議事項

・緊急連絡先カードについて実施することに決定

・クリスマスについて

・昨年に従って新集會室でサロン形式の簡単な茶話会をする(行事)
・もつと若い方たちが多く参加するにはどうしたらよいか―信徒の高齢化があり夜のミサの参加が減少しているがいたしかたない。最近日曜日のミサには参加者増加傾向にあるが、ベトナムの方たちが来れないとぐつと減る(青柳) 活気を取り戻すカギはベトナムの方たちにあるのではないか(今井) 以上

(次回委員会 12月8日)

教会からのお知らせ

■訃報

エリザベト 赤岩基恵さん

10月31日に帰天されました
謹んでご冥福をお祈り申し上げます

■転入

ミカエル 小林展樹さん

ヒロキ

11月10日付けで山手カトリック教会から転入されました。

上飯田(D地区)にお住いです

(総務グループ)

上野委員長のコラム

委員長をお引受けしてから一年が経とうとしております。私は当教会にお世話になってから38年になりますが、これまで委員会の各種委員を務めたことは有りませんでした。それらしいことをしたと言え20数年前に壮年会長として2年間、委員会に出席させていただいたことのみでありました。

それゆえ各部門の仕事について知らないことばかりでした。当初はお引受けしたのは間違いではなかったのかと思ったりしたものでありました。しかしなんとか一年やってこられたのは次の三つに尽きると考えております。第一は何よりも神父様からよろしく御指導頂いたこと、第二は信徒の皆様から心からのご協力を頂いたこと、第三は実務について精通しておられる各委員の皆様から教えられ助けられたことであります。

話は変わりますが委員長ポストをお引受けして今更のように考えさせられたことがあります。それは余りにも長期間、委員をお願いして来た方が何人もおられるということでもあります。最長の方では40年近く、20年、30年の方が2名、5年、10年の方はザラにおられるというのが実情であります。この方たちは苦情も仰ることなく黙々とやって下さっています。しかしこの方たちの御苦勞を考えると、「代わりの人」ということを信徒全体で考えねばならないのではないのでしょうか。信徒の高齢化も進んでおり難しい側面もあるかと思いますが、新年度の課題として全員で取り組んでいきたいものです。最後にこの一年のことを神父様はじめ皆様に御礼申し上げますとともに深く感謝致します。

以上